



一週一言

近者吾れ等一つの敬服を興へたるものは平町に招集の濱三郡町長會に臨んだ本縣知事赤木朝治氏が之れを好機として地元官民等が企てたる會後の歡迎會を厚意は感謝するも今は其の時期に非ずとして固辭されたる態度であつた。

平共済病院の内訌

これで大體一掃か 會長と院長との對立關係が全然なくなされた模様

事甚だ些々たる一事の如くではあるが味ふて千金の價たるを覺えざるを得ない時局は云ふ迄もなく廉節を以て民を導かねばならぬ謂

平町共済病院では共済會長と院長との對立關係が内訌を起した其の實際問題は東北駕、東奔西走なるもの

力更生も農村の振興も其れを離れて何を求め得べき之れなきものに救済の諸事は業百害あるとも一利ない

由來高級官吏の輩には巡視の途頭、照りはゆる自動車を馳驅して堂々と乗り込み殊更に威を構ひ風を装ひ以て下級官吏や地元民か

に至れば満足しない様な宿弊があり更に満幅の敬意を表せられる歡迎宴會に臨む

式は急よ來、十九日午後一時同町八幡の路水橋場に於て舉行の筈で目下諸般の準備中であるが町長時役外収入役及び町議連の受持つ諸係は左記の如く決つた

△總務 野崎滿藏、萩原義雄、若次郎、柳下元吉、荒川恒次郎、式場係佐々木龍

岩次郎、武之助、鈴木光吉、馬目武之助、鈴木光

内正一、吉田寅之輔、千葉彦次、花澤五五、△

宴會係馬目雅治、根本品藏、國府田直良、高橋龜

松△余與係櫻井清、武田元之助、齊藤敏實、吉村

安次郎(國府田直良)△調度係吉田伍平、荒川淺次

郎、永山富廣、石山治三郎、會計大河原金之助

猪狩庄平、坂本隆藏、以上

在平記者の 水道視察

昨十一日町役場員の案内で

平町水道課では昨十一日在平日新聞記者に對し來る

十九日竣工式を挙ぐる擴張工事の出來方を説明の爲め

同行を伏見町長、山下課長の案内に青沼、關内、佐

々木、萩原各町議の一行で好間村六瀧筋の取水口か

目醒めた玉 信用組

石城郡玉川信用購買會は久しく假死の状態で業績甚だ振はなかつたが非常時に

處する自力更生に目ざめて専務理事外各役員が此の際

自己の財産を提供して、云ふ發奮に去る十日午前九

時村役場に役員會を開き左記の事項を協議した

△貸付金の確保、更生に對する新事業の研究、購

買販賣事業、農畜倉庫の兼營、借入金に關する諸

件(以上)

梨泥 石城郡神谷村の縣立試驗場

場では梨の收穫期である昨今盜難が多いので晝夜警戒

中であるが數日前平町字鎌沼の村田某及び佐久間某

の總出荷三六貫で十日の二名の現行犯を捕へられた

十貫、最低三二圓五十錢が去る十日は日中農夫達が

晝飯に引上げたのを寄貨と見做して引上げたのを寄貨と

見做して引上げたのを寄貨と見做して引上げたのを寄貨と

記者チム 敗れる

十一對三で 在平日新聞記者チムと石城郡湯本町入山探炭チム

の野球試合は昨十一日午後二時から入山グラウンド

で行はれ珍らしい取組みに觀衆の興を湧したが十一對三

で入山の勝利となり午後五時解散後同町山形屋で懇親

宴を催して分發した

俳句 燈下雅談

(二) 求恩樓

と云ふ其の頃宗匠と名の

ある人達は弟子達の句を選

して點を與へるのに點料と

稱して多少の金銭を要求す

る風習があつたので貞徳の

此狂歌を見た門弟の一人が

即座に 三味線の糸より細き俳諧

何れも平器の取調中であるが同場では試験果實をもち

とられる事を何よりも當惑してゐる

つた頃或日烈風の最中に公郷屋敷から出火して數多の

公郷達逃惑ふ中に風早大納言と云ふ人途中にて清水谷

中納言と云ふ人に出逢ひま

した處此中納言殿突壁に

風早ときくも恐ろし今日の火や

と呼かけましたら人納言す

かさす

清水谷とて焼ものこらす

さすがに殿上人の襟懐た

くたるものがありました

大岡越前守と並び稱せら

れる程の名町奉行と云はれ

た根岸肥前守八十歳に及んだ時五百石の御加増を受

御加増をうんざりしたく

五百石 八十翁のちから

見たまへ

當選御禮

今回の貴族院多額納稅者議員選舉に際し各位の多

大なる御援助により當選の光榮を擔ひ候段感謝に

堪へず不取敢紙上を以て御禮申上候

石城郡 錦村

金成通

昭和七年九月十一日

最近の新聞から

大森勇

永遠の昔、山川の形末だ整

はざる頃、生命の源がこの

好間村六瀧筋の取水口か

